

高校生ロケット大会 2026 募集要項

- 1 目 的 青少年の科学技術に関する興味・関心を高め、チームで協力してものづくりに取り組む楽しさを味わうことを目的とします。
- 2 「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクト アクションプランの位置づけ
「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクト アクションプランの「基本的方向性②」【主体的に挑戦し成長する「Challenge」】にチームで協働してのロケットづくりやロケットの発射を通して、宇宙開発や科学技術への興味・関心を高めるとともに、問題解決能力と最後までやり抜く力をはぐくむ事業として位置づいています。
- 3 日 時 令和8年11月8日（日） 9：15～16：00 （受付9：00～）
- 4 会 場 青少年宇宙科学館（団体抛室）・道祖土小学校（校庭）
ロケット作成・表彰式等：青少年宇宙科学館
打ち上げ：道祖土小学校校庭
- 5 対 象 高校1年生～3年生、中等教育学校4年生～6年生
※チームの代表者は次の①～③のいずれかに当てはまる必要があります
①さいたま市内在住
②さいたま市内にある高等学校の生徒
③さいたま市内にある中等教育学校の生徒
- 6 定 員 5組（1チームの人数は2～3人とします）
※他校生徒とのチーム編成を認めます
- 7 参加費 第4級打上従事者資格（ライセンス）を取得しない場合 無料
第4級打上従事者資格（ライセンス）を取得する場合 3,500円
(1年間有効)
- 8 講 師 特定非営利活動法人 日本モデルロケット協会 講師
- 9 募 集 (1) 対象 「5 対象」に該当する1名以上を含む高等学校の生徒及び、中等教育学校の4～6年生の生徒によるチーム（1チーム2～3人）
(2) 方法 生涯学習情報システムによる申込
(応募多数の場合は抽選)
(3) 期間 令和8年9月1日（火）～10月10日（土）

- 10 内 容 チームによる、モデルロケットの製作、打ち上げを行い、目標着地点に最も近いチームを競います。1日を通して、ロケットの仕組み、製作、試射、記録会までを行います。

11 ロケットの試射について

作ったロケットを打ち上げて、定点着地競技を行います。ルールは以下の通りとします。

- ・ 2回発射を行います。
- ・ 2回の発射のうち、発射地点に近い方の記録をそのチームの記録とします。
- ・ 発射地点から、パラシュートを含む機体までの最短距離を計測します。
- ・ 最も発射地点に近かったチームを優勝とします。
- ・ パラシュートが放出されなかった場合は、参考記録とします。
- ・ パラシュートが放出されても、機体から外れた場合は、参考記録とします。
- ・ エンジン不点火の場合でも、時間のある限り何度でも打ち上げ挑戦可能とします。

※ただし、当日の天候等の理由により、ルールに変更が出る場合があります。

※小雨であれば、ロケットの発射は実施します。

12 当日の日程

時間	活動内容
8:00～ 8:50	準備
9:00～ 9:15	受付
9:15～ 9:20	本日の概要（主催者挨拶、館長挨拶、講師紹介）
9:20～ 9:30	自己紹介、チームリーダー・チーム名の決定
9:30～10:30	ロケットの原理、モデルロケット製作概要
10:30～10:35	休憩
10:35～12:00	ペーパークラフトモデルロケット製作 打上げ前の完成検査（機体重量、重心位置の測定）
12:00～13:00	昼食・道祖土小学校へ移動
13:00～15:30	モデルロケット打ち上げ実験（スポットランディングコンテスト）、写真撮影
15:30～16:00	結果発表、表彰、証書授与、アンケート記入
16:00～16:30	片付け

網掛けの時間帯は道祖土小学校にてロケットの打ち上げを行います。

※荒天の場合：ロケット製作後、競技用紙飛行機を製作し、紙飛行機大会を行います。